



2021年度 鶴川地区 市政懇談会

次 第

[日時] 2021年11月2日 (火) 18:30~20:00

[場所] 鶴川市民センター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 大貫 一夫
鶴川地区町内会・自治会連合会 副会長 齋藤 広志

○ 連合会長の挨拶

鶴川地区町内会・自治会連合会 会長 仲村 清彦

○ 市長の挨拶

町田市市長 石坂 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

- 1 鶴川駅南側整備及び北口広場拡張計画の進捗状況について
【都市づくり部】 【道路部】
- 2 鶴川駅を中心とした交通渋滞解消方策の進展状況について
【道路部】
- 3 都市計画道路の整備促進の働きかけについて
【道路部】
- 4 鶴川地区の小学校周辺及び通学路の安全対策について
【学校教育部】
- 5 町内会館の避難所指定について
【防災安全部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 鶴川地区町内会・自治会連合会 副会長 大石 正幸

2021年度 鶴川地区 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2021年11月2日(火) 18:30～20:00

[場 所] 鶴川市民センター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

防災安全部長 水越 祐介

道路部長 神蔵 重徳

都市づくり都市整備担当部長 平本 一徳

学校教育部長 石坂 泰弘

市民部市民協働推進担当部長 大貫 一夫

鶴川地区町内会・自治会連合会長 ほか31名

事務局 市民部市民協働推進課 5名

市民部鶴川市民センター長

司会進行：市民協働推進担当部長

鶴川地区町内会・自治会連合会副会長

- 鶴川地区町内会・自治会連合会長の挨拶
- 市長の挨拶
- 職員の紹介
- 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 鶴川駅南側整備及び北口広場拡張計画の進捗状況について

以下の項目について、昨年度からの進捗状況をお知らせください。

- (1) 鶴川駅南側の整備計画進捗状況
- (2) 北口広場拡張計画の進捗状況

【回答】

都市整備担当部長

(1) 鶴川駅南側の整備計画進捗状況についてでございますが、鶴川駅南土地区画整理事業につきましては、2020年3月に事業認可を取得し、事業を進めているところでございます。現在は、換地設計(案)を進めております。

今後は、2021年度に換地設計の決定、2022年度に都市計画の変更を行い、2023年度からの工事着手を目指してまいります。

川崎市内からのアクセス道路の整備につきましては、2020年1月に川崎市と事業を円滑に推進するため、協定を締結し、川崎市と連携しながら事業を進めております。また、神奈川県警とのアクセス道路に関する安全対策等の協議につきましては、10月に完了しました。

今後は、地元住民の皆様や川崎市等の関係機関と調整を図り、2024年度からの工事着手を目指してまいります。

道路部長

(2) 「北口広場拡張計画の進捗状況について」についてお答えいたします。

鶴川駅北口広場再整備事業につきましては、2020年11月に都市計画道路町田3・3・28号鶴川駅北口線として事業認可を取得、2021年3月に警視庁との設計協議を完了しました。

今年度につきましては、7月15日に事業説明会を行いました。そして、11月下旬から電線類を地中化する工事に着手し、2021年度未完了を目指しております。

次年度以降も引き続き北口広場の整備を進め、2027年度の完成を目指しております。なお、工事に際しましては、北口広場をご利用の皆様、近隣にお住まいの方々には大変ご迷惑をおかけいたしますが、安全には十分配慮し工事を進めて参りますので、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

《質疑》なし

2 鶴川駅を中心とした交通渋滞解消方策の進展状況について

以下の項目について、昨年度からの進捗状況をお知らせください。

- (1) 鶴川東交差点から上麻生交差点に至る渋滞解消対策
- (2) 金井入口交差点の渋滞解消対策
- (3) 鎌倉街道の整備促進と交通渋滞解消対策
- (4) 岡上駐在所前交差点の渋滞解消対策

【回答】

道路部長

(1) 「鶴川駅東口交差点から上麻生交差点に至る渋滞解消対策」についてお答えいたします。

まず、東京都側の進捗状況でございますが、鶴川駅東口交差点から川崎市境までの810m区間については「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」において、東京都が2025年度までに、優先的に整備

すべき路線と位置付けられております。現時点では、整備時期については未定と伺っております。

次に、川崎市側の進捗状況でございますが、川崎市との市境から旧三井住友銀行柿生支店前までの約430m区間の上麻生Ⅱ期工区については、用地取得を進めており、2021年10月時点の取得率は15%となっております。

(2020年10月時点は15%) また、事業認可期間は2026年3月末までとなっております。

(2) 「金井入口交差点の渋滞解消対策」についてお答えいたします。

芝溝街道の金井入口交差点から西側は、(1)と同様に「第四次事業化計画」において、東京都が2025年度までに優先的に整備すべき路線として位置付けられております。現時点では、整備時期については未定と伺っております。

(3) 「鎌倉街道の整備促進と交通渋滞解消対策」についてお答えいたします。

東京都において事業中の路線です。今井谷戸交差点から薬師中学校までの740m区間の薬師池Ⅰ期は現在用地取得を進めており、2021年4月1日時点の取得率は47%と伺っております。(2020年4月1日時点は47%)薬師中学校から新袋橋交差点南側の1,040m区間の薬師池Ⅱ期について、2021年4月1日時点の取得率は28%と伺っております。(2020年4月1日時点は28%) また、事業認可期間は2022年3月末までとなっております。

(4) 「岡上駐在所前交差点の渋滞解消対策」についてお答えいたします。

川崎都市計画道路3・4・22号真光寺長津田線の岡上駐在所前交差点付近につきましては、第2次川崎市道路整備プログラムにおいて整備推進路線として位置付けられておらず、整備時期は未定と伺っています。まずは、川崎市の道路整備プログラムに位置付けることが必要であると考えております。また、議案1でお話いたしました、町田市では、鶴川駅南口土地区画整理事業に伴う、岡上駐在所交差点から鶴川駅南口に至るアクセス道路の整備を予定しており、地域の利便性向上に寄与するものであると考えております。現在は、神奈川県警と協議を進めており、安全対策等の計画に関する協議が完了しました。

(1) 鶴川駅東口、(2) 金井入口及び(3) 鎌倉街道につきましては、東京都南多摩東部建設事務所長に対し4月19日に市長及び赤塚副市長から、各事業の早期着手や整備促進について要請をするとともに、進捗について随時情報共有を図っております。今後も、施行者である東京都に対して引き続き要請してまいります。そして、(1) 上麻生と(4) 岡上駐在所につきましては、川崎市に対して2021年1月27日及び2021年10月5日に、町田市と川崎市が定期的開催している、川崎・町田道路連絡調整会議

において、都市計画道路の整備推進や交差点の渋滞解消対策の早期実施について働きかけを行いました。川崎市に対しても、引き続き要請を行ってまいります。

《質疑》なし

3 都市計画道路の整備促進の働きかけについて

以下の項目について、昨年度からの進捗状況をお知らせください。

- (1) 真光寺から黒川に抜ける都市計画道路の整備促進の働きかけ
- (2) 広袴から栗木への都市計画道路の整備促進の働きかけ

【回答】

道路部長

(1) 「真光寺から黒川に抜ける都市計画道路の整備促進の働きかけ」についてお答えいたします。

東京都は、町田都市計画道路3・4・23号能ヶ谷真光寺線のうち、真光寺十字路の北側から川崎市に向かう940mの真光寺区間について事業を進めており、この区間全体での用地取得率は93%となっております。この区間の内、真光寺十字路から市道鶴川556号線（ボナペティ）までの区間は既に整備が完了しております。残りの市道鶴川556号線より北側の区間については、現在、用地取得を進めております。

事業中区間から先の、川崎市との市境までの約30mの区間については、第四次事業化計画において、東京都が2025年度までに、優先的に整備すべき路線と位置付けられておりますが、整備時期については未定と伺っております。

また、川崎市側は、市境からセレスモス麻生店前の交差点までの約470mの区間については、第2次川崎市道路整備プログラムにおいて整備推進路線として位置付けられ、川崎市が2025年度までに事業に着手する路線に位置付けられておりますが、整備時期については未定と伺っております。

(2) 「広袴から栗木への都市計画道路の整備促進の働きかけ」についてお答えいたします。

町田都市計画道路3・4・30号大蔵町広袴線と接続する川崎都市計画道路3・4・23号線につきましては、川崎市に確認したところ、第2次川崎市道路整備プログラムにおいて整備推進路線として位置付けられておらず、整備時期は未定と伺っております。

議題3につきましても、先ほどの議題2と同様に、東京都及び川崎市に対しまして整備促進の要請を行っているところでございます。今後も(1)に

つきましては、東京都と、川崎市に対しまして、（２）につきましては、川崎市に対しまして、引き続き、整備促進の働きかけを行ってまいります。

《質疑》なし

4 鶴川地区の小学校周辺及び通学路の安全対策について

昨年度の市政懇談会でも議題にしましたが、鶴川地区の学校周辺の横断歩道のペイントが消えているところがあります。道路標識が見えにくく、壊れているところもあります。過去に、真光寺の鶴川街道と通学路の交差点で死亡事故が発生しています。ガードレールなどの設置等、安全対策の実行を要望します。

【回答】

学校教育部長

教育委員会では、2021年度につきましても6月下旬から鶴川第一小学校、鶴川第四小学校、大蔵小学校、金井小学校、三輪小学校で通学路安全点検を実施いたしました。

また、千葉県八街市の事故を受け、2021年度に通学路安全点検を実施していない鶴川第二小学校、鶴川第三小学校につきましても、幹線道路の抜け道になっている危険な道路などの視点で緊急通学路点検を実施いたしました。

2020年度の具体的な安全対策としまして、ガードレール、ガードパイプ、注意喚起の看板の設置、減速ドットラインの新設、外側線の塗り直しなどの対策を実施いたしました。

通学路安全点検は、保護者、地域の皆様にご協力をいただき実施しているものでございますので、安全対策の取り組みにつきましてご理解がいただけるよう周知し、児童が安全・安心に通学できるように今後も努めてまいります。

《質疑》

鶴川2丁目自治会

通学路の安全点検をしたということですが、それに対する対策も講じられていますか。

学校教育部長

昨年度、危険箇所につきましては具体的な安全対策としてガードレール、ガードパイプ、注意喚起の看板の設置、減速ドットラインの設置などの即時対応できることは対応しています。

ただし、構造上なかなか対応することが難しい場所については、すぐに解決することができていません。対応できる箇所については、道路部と協議をして対応しています。

5 町内会館の避難場所指定について

防災避難所に指定されている小中学校の体育館では、避難指示が出されたときの収容人数が不足すると思われます。町内会・自治会の会館も避難場所として利用したいと考えますが、その時の市の支援を教えてくださいたいと思います。

【回答】

防災安全部長

町内会・自治会の会館を避難場所としての利用する場合には、市の直接的支援はございません。しかしながら、町内会館等を地域の避難施設としてご利用される場合にも、小中学校等の市の避難施設に物資を受け取りに来て頂ければ、食糧及び飲料水をお渡しすることができます。

《質疑》

地区連合会長

全避難所にコロナ対策で区画を整備するためのテントを配布されましたが、1校につき50区画分が各校の体育館に配られています。バスケットコートが2面あるような体育館だと、実際に区画するとだいたい80区画ぐらいできます。そのため、残りの各避難所の体育館の面積に応じて不足分のテントを補充していただきたいと思います。

防災安全部長

不足部分につきましては、今後引き続き整備をしていきたいと考えております。また、併せましてアウトドアをする方が増えて、テントをお持ちの方が増えているので、テントを持ち込み設置したいという方もいらっしゃるかと思います。テントを持ち込んで校庭などが活用できないか検討してまいります。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

皆様に今日は「2021年度 市政懇談会 市政報告概要」という資料をお

配りしております。聞いている方もわかりやすいかと思っておりますので、今年度は各地域の市政懇談会でもお配りしている資料を使ってご説明します。

何と言っても新型コロナウイルスの関係が1年半ほど大きな問題となっています。日本全国というよりも世界的な問題ではありましたが、町田では感染の問題では大分収束をしてきました。今日の東京都の感染者は18人でした。昨日は9人でした。ほぼ収束という段階に来ましたが、年末には第6波が来るのではないかという話がありまして、その対応に向けて準備をしています。

去年の3月に、学校がお休みになりました。そのまま春休みになり、4月に再開しましたが、かなり学校の授業が遅れました。夏休みも去年は8月の下旬には終わって2学期が始まっています。いきなり学校がお休みだったので衝撃的でした。

その後4月に特別定額給付金事業がスタートいたしました。1人10万円の給付金です。町田市内約432億円の金額でした。

子育て世帯に対しても1万円の給付金を支給しました。それが約4億9千万円でした。

去年の夏から、中小企業者家賃補助事業を4回行いました。去年の5月から1回目、利子補助と合わせて約10億6千万円。2回目は約5億2千万円。今年に入って3回目の約4億円。更に約3億円と4回補助事業をしています。売り上げが15%以上減った企業が対象でした。

医療機関特別給付金事業では、4つの病院に補助金を出しました。民間の医療機関に約2億円の給付をしています。コロナ感染者、相部屋ができません。同じ部屋に何人もいられないということは、診療報酬が得られないため、約2億円の補助金を出しました。

地域外来のPCR検査センターを都内で8番目、多摩地域26市の中では1番目に、去年の4月にオープンしました。これは医師会で積極的に行っていこうという話があり実施しました。

一人親家庭に対しても臨時給付金を給付しました。国の制度もありましたが、町田市独自の事業としても行い、約1億2千万円でした。国は約4億2千万円でした。

経済対策についてですが、中小企業の家賃補助の他に、キャッシュレス決済、Pay Payと連携してプレミアムポイント事業を行いました。23億円分のプレミアムポイントを市が負担して行い、去年の12月から今年の1月までと6月と2回実施しています。

飲食店のデリバリー支援も行いました。出前館という会社がありますが、出前館に出前をお願いして、出前を頼んだ人の出前手数料と、お店側が出前館へ払う出前の配達料を市が負担しました。また、デリバリー・テイクアウトを実施する飲食店への給付金事業を行い、合わせて約2億円でした。

介護サービスの事業所の支援は、約2億8千万円。障がい福祉サービスの事業継続支援は、約1千8百万円でした。

現在のワクチンの接種状況ですが、12歳以上の全人口比で77.7%の方が2回目の接種を終えました。高齢者、つまり65歳以上の方は昨日の段階で91.4%2回目の接種が終わっています。

今、3回目の接種の話が出てきています。2回目を受けてから、8ヶ月後に3回目の接種となり、順番にご案内をいたします。まずは医療従事者の方の接種をスタートします。医療従事者の場合には、それぞれの医療機関で接種していただくということになります。皆さんの場合は、かかりつけ医の診療所もしくは生涯学習センターなどの集団接種会場で2月くらいから始まると思います。今、東京都や国と交渉していますが、場合によってはモデルナのワクチンを使うこともあると言われています。今のところ、ファイザーの人はファイザーのワクチンを接種します。モデルナを接種した人がファイザーを接種できるのは、若い人の男性だけで混ぜることはありません。

まちだ〇ごと大作戦は、おかげさまで12月に終了します。4年行い、約300の事業を実施しました。目標参加者数100万人というところ、200万人の参加がありました。市民の皆さんとか団体の人が実施したいことを申請していただいて、その広報をしたり、補助金を出したりしました。目標の倍の方に参加していただいたので、これは町内会・自治会の皆さんが一生懸命働きかけていただいた成果だと思います。例えば、〇ごと大作戦は、市の職員に対して、市民がやりたいと提案していることを止めるなど言っています。これは規則でできない、まだその施設はできてないなど、いろんなことを指摘します。一番わかりやすいのは鶴川の香具山です。土地を買ったので市に所有権がありますが、条例や規則がまだ整備されておらず、ただ現場があるだけというところでしたが、お茶会などいろんなことができました。

多摩都市モノレール整備は、新しい駅の周辺整備基金として7億5千万円です。

東京2020オリンピック・パラリンピックはご案内のとおり原則無観客で開催されましたが、パラリンピックのインドネシアバドミントン代表チームの事前キャンプを成瀬の総合体育館で行いました。6人の選手がメダルを獲得しました。インドネシアはバドミントンが強いです。

町田薬師池公園四季彩の杜は、去年の4月にオープンをいたしました。非常に好評です。非常にたくさんのお客さんが来ていただいております。集計していませんが、今年度は既に100万人くらいの方が来園されていると思います。このコロナ禍の中でも多くの方に来ていただいております。

野津田公園GIONスタジアムは、この5月に観客席を10,000席から15,000席への増設工事が終わりました。今は観客の制限が2分の1までになりましたので、7,500人上限で観客を入れられるようになりました。

た。

鶴川駅の話は先ほどお話ししたとおりです。先ほど話がありませんでしたが、鶴川駅の東、上麻生に行く鶴川駅東口交差点の渋滞がひどいです。区画整理をしっかり駅前を整備しないと渋滞が解消されません。川崎市にも協力をお願いしていますが、なかなか進んでいないのが現状です。

熱回収施設は、もう既にごみを新工場で燃やしています。生ごみを直に炉に入れないで、20日くらい置いてバイオガスを発生させて、発電をしています。これは公設では首都圏で初めての施設になります。首都圏だけでなく全国から視察の人が来ると思います。温浴施設が4月にオープンします。資源ごみ処理施設ですが、相原の大戸小学校と武蔵岡中学校の東側に計画しています。もうすぐ都市計画決定になります。

保育所の待機児童数は去年が130人で、今年は76人です。南地区にまた新しい保育所を作っていますので、もう少し減少するかと思います。

町田第一中学校の建て替えが終わり、二学期から新しい校舎で授業が始まっています。校庭がまだ整備が終わっていませんので、本町田のグラウンドで体育の授業を行っています。

小・中学校の体育館では、今年度全62校で空調設備の整備が完了します。こちらは大雨や地震の時に、先ほど質問ありましたが、避難施設になりますので、暑い時は冷房、寒い時は暖房が入れられるようになります。そういう意味では、二次被害を防げると思います。もちろん、小学生、中学生が体育の授業中に熱中症になるという危険性も防止できます。

中学校の全員給食については、今のところ2025年度にスタートできるように計画をしています。場所は、木曾山崎団地の北側にある旧忠生第六小学校跡地、鶴川は学校用地ですが金井のグラウンドに給食センターを作ろうという計画をしています。もう1か所は成瀬の下水処理場の横に公園、調整池がありますが、そこに作ろうと計画しています。武蔵岡中学校と堺中学校の2校は、木曾山崎のセンターから運ぶのは大変なので、大户小学校の給食施設を使って堺中学校まで運ぶことを考えています。

小・中学校再編計画は今年5月に発表しました。この辺ですと、鶴川第三小学校が、鶴川第四小学校に行く区域と鶴川第二小学校に行く区域に分かれるという計画を出しました。また、真光寺中学校を廃校する計画を出しております。新しい学校を建てることにきつとなると思います。鶴川第一小学校と大蔵小学校が合併するという話も計画であります。もう少し先になると、さっきの金井のスポーツ広場に新しい学校を作って、金井小学校と藤の台小学校が統合するという計画も出されております。これは20年くらい先の話ですが、そのように計画しています。全市で中学校が20校ありますが、それが15校になります。小学校が42校あるのが26校になります。今ある学校は50年くらい前に建てたところが大半です。そのため、あと10年く

らいすると、建て替えをすることになると思います。子どもの数は全市平均で3割減ります。つまり今の7割くらいになってしまうという予測になっています。もう一つは、学校が築60年程度となると、建て替えないともたないという状況になります。今の計画の中では2,500億円くらいかかります。

特別養護老人ホームです。申し込みから1年未満に入所できた人の割合が、2009年度約45%だったものが今は85から90%です。申し込みから1年で入所できるという時代になりました。

《質疑》

金井町内会

新型コロナウイルス感染症の対応でいろいろなお金が出ていますが、市が直接拠出した項目はどれでしょうか。1番と7番につきましては先ほどご説明されていましたが、他にございますか。

市長

市がお金を基本的に負担しているものは、ほとんどありません。地方創生臨時交付金というお金が新型コロナウイルス対策に使うものに認定をされて国から交付されます。一番わかりやすいのが特別給付金の432億円です。これも全額国のお金です。

三輪町第一住宅自治会

ここには載っていませんが、世界的にCO₂の問題がかなり大きくなってきていますが、町田市としてCO₂の問題についての方針などがあればお伺いしたいと思います。

市長

市で一番CO₂を排出しているのは清掃工場です。先ほど言いましたように燃やしていますので、多く排出されます。ただし、生ごみを燃やす場合も、実際にCO₂が出ていますので、その対策をしなければなりません。次にCO₂を出しているのは二つの下水処理場です。市民病院も24時間営業であるため、多くCO₂を出しています。基本的にはその他に小中学校も、電気を使っているため、化石燃料で電気を発電するときにCO₂が発生し、それを換算していくと、かなりの量のCO₂を出しています。それぞれについて、何ができるかということですが、清掃工場につきましては先ほど申しましたが、バイオガスエンジンといってガスエンジンですが、そのガスは生ごみから直接出して燃やしています。ただし、燃やすとCO₂が出るので、そんなに大きな効果はありませんが、生ごみを燃やす量を減らすということで

CO₂の削減を図っています。もう一つは、高い効率の発電施設を入れていきますので、効率が良くなれば発電能力が上がります。その分、化石燃料から作った電力を使わなくて済むので、CO₂を削減することを清掃工場で行っています。

下水処理場も実はまだやっていませんが、さっきの清掃工場の電力を鶴見川の下水処理場である鶴見川クリーンセンターに送って、それを使うということで、少し削減をしようとしています。もちろん、東京電力の施設ですので、送電設備の使用料がかかりますが、経費的にはその方が安くなるだろうし、CO₂も削減ができます。

市民病院については既に対策をとっています。その対策はエネルギーセンターを作ったことです。エネルギーセンターで何をやっているかというところ、冷暖房と発電を一緒にやるコジェネレーションをもって効率を上げてCO₂の削減を市民病院で実施しています。小中学校については、特にまだ対策をしていません。

三輪町第一住宅自治会

先ほど、キャッシュレス決済で、会社が複数あると思いますが、Pay Payを選んだ理由と、あと出前館企業を選んだ理由をお伺いしたいと思います。

市長

まずPay Payは、QRコードを使ってキャッシュレス決済をするときにはお店がPay Payの端末を設備しなきゃいけません。そのシェアが非常に大きく実績もあることから、事業遂行力が高いということと、宣伝、普及促進の企画内容が良かった、という理由からPay Payを選びました。Pay Payとしても、町田市の事業を行ったおかげで加盟店がかなり増えたそうです。町田市としても、それぞれのお店の売り上げを上げることができたので、商店としてもプラスになりましたので、経済活性化、キャッシュレス決済促進の効果があったと思います。

それから、デリバリー支援は、出前館やUber Eatsなどいくつか会社がありますが、提案があったのは出前館だけでした。提案内容も良いもので、結果、出前館になりました。

広袴町内会

先ほど資源ごみの処理施設の話が出ました。私共の町内会では資源ごみ回収を5年ほど前から行っていました。ところが、3ヶ月ほど前に資源ごみの回収作業そのものが来年の3月に、撤退したいという申し出がございました。引き続き回収作業をしていただける業者さんを私も2、3件お願いに上がり

ましたら、とてもそういうことはもう今できませんと、お断りされました。実は広袴町内会は今まで資源ごみの回収で、AEDのレンタルリースに充てるということをやっていたものですから、来年以降いかがしたものかなという悩みが今ございます。資源ごみの回収についてはいろいろな町田市取り組みがありますので、是非町内会・自治会の資源ごみ回収にもご支援を賜りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

市長

これは玉川学園の時にもお話が出た件でございます。マーケットが非常に低調で買い取る価格が下がってしまって、結局ペイしないというのが、業者さんが言っている理由です。これが世界的な状況で日本だけの事情ではないようです。恐らく全世界的に資源回収、資源からものに変えるというのが広がっています。ここは行政としては、なんとも対応しようがなく、新しい業者をこちらから紹介するってこともできていない状況です。ではどうするかということですが、町内会でできなくなってしまったからといって、その分を市のお金で行うこともなかなか難しいかなと思っております。あちこちの町内会ベースでやっているところからは、なんとかならないかということはいたいていありますが、なかなかできないのが実状でございます。

鶴川一丁目若草会

災害時のことで、緊急避難場所とか中学校とかに集まってくださいと言っていますが、このコロナの状態、この前の説明会でも体育館に50名くらいしか避難できないということでした。結局、在宅避難をしてくださいという結果になりました。なるべく皆さん在宅避難をしてくださいという話ですが、10年前の震災の時も、そういう時にはスーパーのものはすべてなくなりました。また、この前のコロナの緊急事態宣言の時もスーパーの物がなくなって、そういう状態で在宅避難というのはどういうものかなといつも疑問に思います。やっぱり在宅避難と呼びかけるのであれば、町田市の市民の人にいつも何かしら常備品を、町田市が率先して配っていただくということが必要だと思います。

防災安全部長

今のご心配はごもっともだと思います。避難場所につきましては、昨今の災害の状況からみて、コロナの状況からみて、足りないというのは明らかであります。そういった中で、避難場所っていうのは最後の手段ということで、できる限り在宅ができる方は在宅、あるいは近所の方、あるいは近くにお住まいの親戚の方、そういったさまざまな避難場所を日頃から考えておいてくださいということをお願いしているところです。そういった中で生活必

需品とかの配布ですが、これも町田市の地域防災計画の中で設定して皆さんに日頃からお話を差し上げているところではございますが、各家庭におきまして、発災時から3日間分の食料等の備蓄をお願いしております。それを市の方でお配りするというのはなかなか日常の中での配布というのは難しいですが、そこは日頃の暮らしの中で皆さん蓄えをしてくださいとお願いしております。発災後3日を過ぎますと、それ以降、避難が長引いていくようなことになってまいりますと、町田市だけではなくて他の市町村や、さまざまな事業者の方と協定を結んでおりますので、そういった中で災害支援物資というものを配布していきます。それにつきましては、協定を設けましてしっかりと配布をしていくという計画になっておりますので、まずは3日間ご自分で何とかしのげるよう準備をしていただきたいと思います。その後につきましては、今言った計画の中でしっかりとサポートしてまいります。

○閉会の挨拶

鶴川地区町内会・自治会連合会 副会長